

「ご近所のみなさん、ご通行中のみなさん。日本共産党です。この場所をお借りしまして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間、ご協力をよろしく願います。」

さて、みなさん、いよいよ今月28日に、山武地域6市町村の合併の是非を問う住民投票が行われます。東金の将来を左右する大事な投票です。ぜひ、「ごぞつて」「反対」と書きましょつ。

そもそも国や県がすすめる市町村合併は、財政力のない小さな市町村ほど厚くなっている交付金や補助金を減らすことが第一のねらいです。もつひとつのねらいは、この財政難のなかでも、新たな借金をして大型公共事業をすすめることです。

みなさん、市は合併する理由の第一に、地方交付税という国から来るお金が減らされ、このままでは財政がパンクすると宣伝しています。たしかに、合併すれば10年目までは、地方交付税はあまり減りません。ところが、合併1年後からはどんどん減らされ、最終的には20億円以上減らされてしまいます。逆に合併しない方が、ほとんど減らないのです。これらのことは、合併協議会や東金市のパンフレットにも、のっています。

みなさん、合併特例債と言って、合併すれば何百億円も財政支援を受けられると宣伝されています。ところがこの合併特例債は、使えるのは道路や建物の建設だけで、市民の生活を潤すものではありません。しかもこれは3割以上借金として残るもので、やがて住民の肩にズッシリと、のしかかってくるのです。合併協議会のパンフレットでも、合併16年目には借金返済が新市の予算の20%を超えます。こうしたことがあるからこそ、全国で、そして千葉県県内でもあちこちで合併計画がご破算になっています。

みなさん、国も財政難だというのに、関西空港の二期工事や川辺川ダム、諫早湾干拓事業など、全国で環境を破壊するムダな大型公共事業がすすめられています。バブル時代の高速道路建設計画も止まりません。合併特例債による大型公共事業は、国と地方の財政難をさらに深刻にし、将来の財政運営をいっそう困難にすることになります。合併特例債で喜ぶのはゼネコンやそれと癒着する政治家だけです。合併しないと大変、ではなく、合併すると大変、というのが本当のところではないでしょうか。

しかもみなさん、新市の市役所は、当面は東金市役所とされていますが、やがて、また借金で、成東に新庁舎が建てられ、東金は「周辺部」になってしまいます。日本共産党は交付金削減と新たな大型公共事業のための合併には反対です。

みなさん、何がなんでも合併という人たちが最近持ち出してきたのが、山武地域医療センターの問題です。まるで合併すればすぐできそうな話がされていますが、これは真つ赤なウソです。県当局も「合併と医療センターはまったく別で、そんな話は迷惑だ」と断言しています。医療体制の充実という、山武地域のみなさんの切実な願いを逆手にとつて、ウソまでついて合併を押しつけるなんて、許せません。

みなさん、東金市は近隣市町村にない宝をいっぱい持っています。日本共産党は住民のみなさんごいっしょに、学童保育の充実、中小企業融資制度、介護保険の負担軽減制度、夜間診療所の開設など、一つひとつ実現してきました。ところが、合併に向けて、これらが次々と投げ捨てられつつあります。介護保険の負担軽減制度は合併に向けて廃止されてしまいました。ゴミ袋代の3倍もの値上げも決まっています。合併後は、「一体性」の名のもとに、すすんだ制度は削られ、「負担の公平性」の名のもとに、公共料金の値上げなど住民負担増が待っています。

みなさん、東金市だけでも、市の公共事業の入札制度や委託事業を見直し、ムダをなくして節約に努めれば、財政難を乗り切れることは可能です。さらに、テクノグリーンパークの誘致企業から、今は免除している税金をしっかりとるなど、新たな財源を確保すれば、東金市だけでも充分自立してやっていきます。東金市を愛する市民のみなさん、一時のつまみと引き換えに、東金と山武地域の将来を危うくする合併にはキッパリ「反対」と書きましょつ。そして力を合わせて堂々と自立の道をすすみましょう。日本共産党は、今後も市民生活優先の東金市をつくるために全力で頑張ります。

最後に日本と世界の真実を伝え、読めば勇気がわく、日本共産党の「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたします。訴えを終わらせていただきます。長い間、ご清聴・ご協力ありがとうございました。